



NEWSLETTER

ITC-J Council No.2

第 39 期テーマ

つなぐ心 つなぐ伝統 つなぐ知恵

DARE, CARE, SHARE

カウンスル No.2 第 39 期会長 播磨 由美子

令和元年、天候に恵まれ大勢のお客様をお迎えした第 1 回会合は、ある種の高揚感と緊張感を伴いました。プログラムはクラブ間交流を目的に、敢えてテーマを AI として周到な準備と協調を要するグループワークでした。よく分からないことや初めての取り組みには、私は 3 つの言葉を思い出します。DARE, CARE, SHARE (敢えて勇気を持って、注意を払って、共有する)。生き方に共感を覚えているリカルド・ドゥランティ (詩人・翻訳家) のこのことばは、3 つのグループが総力を挙げて取り組んだそれぞれの課題で見事に展開されました。論理的な洞察力と思考の多様性が会場全体を巻き込み、カウンスル No.2 の底力が発揮されて素晴らしい評価をいただきました。全てのクラブのご協力の賜物です。

そして迎えた令和 2 年。中国武漢発生の新型コロナウイルスの影響が拡大しつつあり、役員会は注意深く情報を集め続けました。ワクチンや治療薬もない今、政府専門家会議は外出の自粛を求め、国民一人一人の協力と自覚を促しています。磨き上げられたスピーチは本来大勢の聴衆を前に披露されるはずでしたが、リスク回避のためスピーチコンテスト委員会のご理解を得て、第 2 回会合は人数を絞り込み、午後からの短縮会合といたしました。どうかこの判断にご理解をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

DARE, CARE, SHARE。私たちが勇気を持ち注意を払ってこのウイルスに対峙し、協力してこの難局を乗り越えましょう。晴れて来期の 40 周年に繋げるために。



ITC-J 第 38 期テーマ : 心機一転 Guiding the Way

第 38 回年次大会テーマ : 友情の架け橋



浅井 淑子第一副会長に会合の感想をおたずねしました。「今回のプログラムの目的はカウンスル No.2 のクラブ間交流と AI(人工知能)についての勉強でした。事前にクラブ選抜 3 グループが神戸大学の先生から AI について学び、当日はパワーポイントを使っての素晴らしい発表で、ITC-J での学びの成果を確信しました。また大西 可奈子先生の講演も好評で、皆様熱心に聴き、質問されて AI についての拒否反応も薄れたのではないのでしょうか。ホストクラブである六甲クラブの早朝からの心を込めた準備、ホテルの方のご協力に感謝の

気持ちでいっぱいでした」。

指名委員選挙が行われ、井上 明子 会員(甲南) 杉谷 和代 会員(イースト神戸) 横山 末子 会員(六甲)が選出されました。 ※下線は委員長



公式訪問者評価(抜粋)

ITC-J 第 38 期次期会長 海老原 あかね

- 派遣員ブリーフィングは、定刻より議会議法規役員のもとアジェンダ通りに進められた。会計報告では、派遣員から訂正が入り、事前に修正することが出来た。
- 登録者数の報告がわかりにくかった。歴史のある古いカウンスルなので、再度報告の仕方など詳細なところを統一する方が良いと思った。
- 会長の要所要所をつなぐ進行ぶりに感銘を受けた。役員全員のチームワークの良さも随所に垣間見ることが出来、会合を通してとても気持ち良かった。
- ビジネスも滞りなく進み、「予算書報告」では会則を読み上げ、会員により一層わかるように努められた。
- 3 グループによるグループリサーチはそれぞれの切り口が、身近でとてもわかりやすく、自動車会社に問い合わせたり、大阪ロボケアセンターに赴き、実際に装着した感想など、臨場感もあり、力のこもったリサーチであった。
- 講演は、AI の本質、AI の可能性を噛み砕いて講演していただけたので、大変わかりやすく、AI の意義を再認識出来た。

会員評価(抜粋)

- 受付ホスト会員のあたたかい行き届いた歓迎を受け、本日の会合が十分準備の出来た会合と予測出来た。テーブルは秋満載、秋色のお菓子に会合に臨む意欲が湧いてきた。
- ITC-J 宣誓が揃わず残念！
- 会長の挨拶は先日行われたラグビーからの one for all, all for one 平和を願うとても印象的、タイムリーな挨拶、そこが準備されたものだったと思う。
- 講師のお話を聴くだけでなく、学習して参加するという能動的なものがあり、とても良いプログラムであった。
- コミュニケーション能力が、AI にはもっとも苦手なようなので、ITC-J は大切ですね。
- 我々には弱い分野である AI について、わかりやすく、時代の波にのったプログラムで面白い企画であり、成功したと思う。久々に素晴らしいプログラムで楽しい時を過ごしたと思ったのは私一人ではないと思う。
- グループ同士が多忙中でもコミュニケーションを連携されていたのか、ITC-J の特徴、特性がよくわかる濃い内容でした。AI の内容では仕方ないのかもしれないが、カタカナ文字が多く、内容が伴っているのか点検が必要だったかも。

第 1 回会合決算書

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
会合補助金	40,000	カウンスル会計より	ホテル支払い	527,590	ITC-Jプラン 520,000 マイク・スクリーン代 7,590
登録費	579,500	全日 5,500×103=566,500 午前のみ 1,000×3=3,000 午後のみ 2,000×5=10,000	プロジェクター	14,800	レンタル料
講師登録費	5,500	プログラム委員会より	茶菓代	24,694	和菓子・キャンディー他
			事務費	6,535	各種コピー代、送料等
			飾り付け	2,160	材料費
			繰越金	49,221	カウンスル会計へ
合計	625,000		合計	625,000	

会合コーディネーター 柚本 加代子(六甲) コ・コーディネーター 中村 記子(六甲)

第1回会合プログラム

～グループリサーチでつながりを実感しました～

「ITC-J」に入会して、まるで別世界に放り込まれたように戸惑ったけれども、今では楽しく出席しています」と挨拶された辻坊 洋子会員。辻坊会員にはプログラムリーダー体験を振り返っていただき、また、グループリサーチの各グループからお一人に内容や感想についておたずねしました。

プログラムリーダー初体験

辻坊 洋子(イースト神戸)

思いもしなかったカウンスル会合での P.L.とのお声掛け、不安でいっぱいでした。プログラム委員長に初めてお目にかかった日、あの 2 時間余りで不安が払拭されました。なんとかなる！ 当日、時間を気にしながらプログラムを進めましたが、AI についての発表者の熱意に引き込まれ、しっかりと聞かせていただきました。大西 可奈子先生もわかりやすく講演してくださり、ためになるプログラムの P.L.を経験できて、本当によかった、楽しかったという思いでいます。



「AI は人間の仕事を楽にしてくれる。使い処を間違えなければ本当によいもの、暴走はしません」



翻訳機 POCKETALK で「皆様ありがとうございました」



ジェスチャーを交えて
ロボットスーツの説明



ベテランの技、勘、経験は AI
に組み込まれスマート化

A グループ「AI と歩む」

米村 留美(京都)

AI はまさに時機を得た課題であり、自分なりに理解を深める充実感がありました。お互いの考えを尊重しつつ、発表に向けて力を合わせました。3 回のミーティングを通して、お互いの距離が縮まり、最後には阿吽の呼吸のようなものが生まれたと思います。後日のレストランでの打ち上げは、楽しい同窓会の雰囲気でした。

発表が終わってからも新聞の関連記事を無意識に切り抜きしようとする自分に驚きます。ITC-J 活動の醍醐味が実感できたグループリサーチでした。

B グループ「AI が人間生活に貢献できることは？」

善塔 貴美子(阪神)

B グループはテーマに沿って、それぞれ興味あるトマト栽培や自動運転を調べ、また皆で堺市の大阪ロボケアセンターへ行き、ロボットスーツを実際着用して貴重な体験をしました。

グループリサーチはクラブを越えたメンバーが、グループで行動し、話し合い、まとめて会合で発表するという流れでしたが、リーダーを軸にしてグループ内の連絡を取り合い、発表までの気持ちを一つにしたことは楽しくもありました。B グループのみんなは一気に仲良くなりました！

C グループ「AI で第一次産業を効率化」

藤之原 仁美(三田)

農業と漁業と畜産業についての問題として、これらの産業を支える人口が少なくなってきたこと、高齢化が進んでいるということでした。この問題を解決するためには、熟練農家の高い生産技術(暗黙知、経験則)を AI を活用して、だれもが簡単に取り組んでいくこと、若年層の担い手が取り組みやすくしていけるように AI を活用することでした。うまく活用することで働きやすくなり、産業が活性化されることが理解できました。

また、今回他クラブの方たちとの共同作業で親睦も深められとても楽しく勉強になりました。

講演後、「医療における AI-医師-患者の関係」や「AI が社会や私たちの生活に入ってくるのは心配、今後の見通しはどうか」「エアコンに AI は搭載されているか」など質問が続きました。

コミュニケーション能力や空気を読む力は人間にしかない稀有な能力です。コミュニケーション技術の向上を目指し、これからも勉強を続けていきましょう。



「AI は診断ミスはしないが、
結果を伝えるところにはコミュニケーション能力が必要」



「AI に仕事を奪われることはないが仕事の形は変わってくる。人間にしか出来ないことがある」

後期例会プログラム予定表

阪神クラブ

テーマ : Trust, Relax, Enjoy

会員数 17名



月 日	プログラム
2月7日	リサーチスピーチ「紀行文」
3月6日	Book Report と Book Review
4月3日	★ワークショップ「SDGs」「持続可能な開発目標について」
5月8日	「55周年記念例会」
6月5日	Installation
池田泉州銀行芦屋支店 2階セミナールーム 第1 金曜日 13:30~15:30	

神戸クラブ

テーマ : Make the Kobe Club Great Again

会員数 8名



月 日	プログラム
2月13日	Speech Demonstration
3月12日	Enjoy Potluck
4月9日	Show and Tell
5月14日	Outing Hara's Doll house
6月18日	Installation
芦屋市民センター 第2 木曜日 10:00~12:00	

イースト神戸クラブ

テーマ : Self - Improvement

会員数 11名



月 日	プログラム
2月20日	Speech Contest
3月19日	★My Favorite Address
4月16日	Outing-Bunraku
5月21日	Table Topics
6月18日	Installation, "EKC Tomorrow"
大阪駅前第一ビル 12階 神仙閣 第3 木曜日 10:30~12:30	

京都クラブ

テーマ : 風光日々新

会員数 23名



月 日	プログラム
2月21日	★スピーチコンテスト
3月20日	リサーチスピーチ 新聞を読む
4月17日	クラブバッグ 野外例会:松花堂庭園
5月15日	★ブラタモリ・日本編
6月19日	役員就任式:講演
京都ガーデンパレス 第3 金曜日 13:30~15:30	

甲南クラブ

テーマ： **スパークリング ジョイ ～ときめいて～**

会員数 14名



月 日	プログラム
2月27日	★初体験にときめいて「手話」
3月26日	ときめいて「グループワーク」
4月23日	ときめいて「グループワーク」
5月28日	もう一度ときめいて「AI」
6月25日	ときめいて「アウトティング」
芦屋市民センター 第4木曜日 10:00～12:00	

六甲クラブ

テーマ： **和敬静寂・・・品性ある佇まい**

会員数 11名



月 日	プログラム
2月15日	スピーチデモンストレーション
3月21日	ビブリオバトル
4月18日	野外例会
5月16日	日本二十四節気に学ぶ
6月20日	インスタレーション
神戸市医師会館 第3土曜日 14:00～16:15	

宝塚クラブ

テーマ： **ゆるりふわり 玉響(たまゆら)の時を一緒に**

会員数 4名



月 日	プログラム
2月4日	スピーチ
3月10日	ひなまつり(ディスカッション)
4月14日	カウンスル第2回会合をもって4月例会出席とする
5月12日	アウトティング
6月9日	★就任式
宝塚市立男女共同参画センター(ソリオII)第2火曜日 13:30～15:30	

御影クラブ

テーマ： **協力と思いやり ～和を以て尊しとなす～**

会員数 10名



月 日	プログラム
2月4日	デモンストレーションスピーチ ブックレビュー
3月10日	プロ・コン
4月14日	芦屋の民話を楽しもう
5月12日	30周年記念旅行
6月9日	★役員交代式 カントリー音楽を楽しむ
西宮市立夙川公民館第二集会室 第2火曜日 9:50～11:50	

三田クラブ

テーマ： **令和を楽しみ しなやかに**

会員数 17名



月 日	プログラム
2月1日	スピーチデモンストレーション
3月7日	★ワークショップ「ITC-Jって何?初心にかえって」講師 大野三恵子会員
4月4日	アウトティング「桜を愛でる」三田
5月9日	哲学対話
6月6日	役員交代式 3分間スピーチ「ちょっぴり自慢話」
三田市まちづくり協働センター 第1土曜日 10:30～12:30	

共に考える ～会長報告書から～

会長報告書「ITC-J、カウンスルに望むこと、その他ご意見、提案など」の質問に、クラブ会長の皆様から貴重なご意見が寄せられました。すべてのレベルでより良い形を築いていくために、会員皆で共に考えてまいりましょう。

ITC-J の目指している方向性がよくわからない。

会長報告書を提出するが、どのような形で反映していただけるのか？

指名委員選挙が大切かと思えます。「指名委員会には、会員情報を広く持ち、公正な判断ができ、組織の未来を真剣に考えている人を選びましょう」これは当然のことなので実践したいです。

ITC-J に、事務局の場所は全カウンスルにとってメリットがあるのか？年度ごとに印刷所を変える必要はあるのか？

カウンスル会合が3回から2回になり、会合のあり方（会合のスリム化、役員就任式他）について、検討してほしい。

広範囲のエリアの会員が委員会等で集う場合、リーダーの判断で出来得る限り、円の中心の場所での開催にご尽力いただける配慮は大変有難かった。リーダーの心遣いに感謝です。

Club at Large を再度考えてほしい。

※Club at Large は直接 ITC-J につながるということ。クラブをまとめてのご意見ではありませんが、再度話し合ってはどうかというお考えです。

カウンスル会合のプログラム企画のため、クラブ会員にアサイメントがあるのはクラブにとって負担です。

出来るだけ簡略化してほしい。



はじめまして ～新入会員・移籍会員から一言～

今期カウンスル No.2 は新入会員お二人、そして、No.6 で長く活動してこられた移籍会員をお迎えしました。三名の方はこれからの No.2 に無くてはならない会員になっていただけると信じています。皆様、よろしく願いいたします。

神戸クラブ 河本 千絵

私が入会させて頂きました神戸クラブは英語をメインとした活動をしています。大学卒業以来、結婚、出産と続き、英語を話す機会や英語でコミュニケーションをとる機会も中々なく、また英語力を高めて英語を話したいなあと思っていた所、知人の紹介で入会する事になりました。最初の印象は、おしゃれな方が多いなあ！と言う事と、私より年配の方でしたが、英語力は素晴らしくとてもびっくりしました。皆さんとても優しく接してくださり、とても楽しく活動させてもらっています。楽しみながら英語力も身につけていきたいと思えます。

御影クラブ 石田 道代

英語で楽しく過ごすグループを探していて、夙川公民館の方が「何をしているかわからないけど…」と ITC-J を教えて下さいました。ちょっと興味を持ち、早速、見学をさせて頂きました。そこで、自分の意見とは別に反対、賛成の意見を述べ合うのを見て、大変面白いと思いました。今までボーっと読んでいた新聞もしっかりと読み、中近東の首相の名も記せる様になりました。皆様の意識レベルの高さについてゆけるのか心配です。いつも綺麗なお花を飾って頂き、お菓子も用意して頂いています。とても楽しい時間です。

移籍会員 イースト神戸クラブ 竹田 清子

カウンスル No.6 から移籍し会員として初めての会合に出席し、馴染めるか不安でしたが、秋を象徴するテーブルの飾りに心が癒され溶け込めました。伝統ある No.2 だけあってビジネスはテキパキと進行。プログラムではクラブ間の和気あいあいとしたコミュニケーションのもと、各グループが自信をもって楽しく発表され、活発な展開が見られ、有意義に学ぶことが多くありました。ゲストと会員が融合して誰とでも親しく会話できるのは No.2 の魅力だと感心し、移籍して良かったと感謝しています。

他クラブ・他カウンスルを訪問して ～目からうろこの体験、出来ましたか～

横田佳世子第二副会長は、「他クラブ・他カウンスル訪問カードを利用しての会員同士の交流を勧める。少しでも時間を作り、勇気を出して、積極的意識的に外に出ていくことによって、自クラブの問題点の解決策や自分自身にとって目からうろこの体験が期待できるはず」を目標に掲げられました。編集では三名の方に訪問記をお願いいたしました。今後もクラブ、カウンスルを越えての積極的な交流をお願いいたします。

旭 榮(阪神) ➡ No.5 大阪クラブ 1 月例会「フォーラム ITC-J の未来を考える―踏襲と改革」

大阪クラブ 1 月例会のフォーラムはとてもフレンドリーな雰囲気、パネリストのスピーチはどれも ITC-J のニーズを目指す内容だった。入会間もない副会長と少人数 6 人のクラブ会長の話は、クラブの内情を鑑み、型にはまらないクラブ独自の改革の話だったので、参考に出来るクラブがあると思う。話に引き込まれている自分と同じテーブルの人も、「クラブ員全員と出席したらよかった」と言われていて、同調出来た。何故か「古い革袋に新しいワインを入れてはいけない」という言葉が浮かんできた。会合後の高揚感と少々の疲れを感じながら、ITC-J への思いを新たに家路についた。

田中 やよい(宝塚) ➡ No.5 大阪クラブ 1 月例会「フォーラム ITC-J の未来を考える―踏襲と改革」

田中会員は「少人数クラブ よもやま話」としてご寄稿くださいました。

宝塚クラブは 4 人です・・・という、大丈夫？どのようにやっているの？無理でしょ？！と矢継ぎ早の質問の 2 年間で過ぎ、3 年目の今年は順風満帆？！いえいえ、やはり現実は大変です。でも不思議と慣れてきたのでしょうか。役決めもスムーズに、あきらめもほどほどになってきました。皆様に助けや許しを頂きながらのサバイバルゲームの様でもありますが、何かしらの工夫でぐり抜けた後は、もしかしたら魅力が待っているのかもしれない。四輪車のタイヤがひとつ欠けても発車不能のように、出席へのモチベーションは高く、皆勤賞続出の 3 人の先輩方に支えられています。

梶木 博子(御影) ➡ イースト神戸クラブ 11 月例会 Lecture by Mr. Martin Holman

御影クラブでは、これまでに能楽や古典落語観賞、香道体験をし、更なる日本文化をという会員の思いがある折、日本文学や言語学の博士号を取得し、人形浄瑠璃に関心を持ち、母国アメリカでも数多くの公演や人形遣いとして活躍中の Martin Holman 氏をイースト神戸クラブ今井京子会員が辻良子会長に推薦され、御影クラブ 1 月プログラムとして実現した。イースト神戸クラブは、以前には人形浄瑠璃を今期は井上靖や川端康成の文学についての講演会を開催されており、会長他と訪問し、Martin 氏との顔合わせと打ち合わせの機会を頂いた。「人形浄瑠璃について」の講演は、Martin 氏の人柄によって終始親しみを感じる期待以上の素晴らしいプログラムになった。

5 月には徳島在住中の Martin 氏を訪ね、人形浄瑠璃屋敷の見学や公演観賞を例会として企画中である。

編集後記

第 1 号に引き続き、原稿へのご協力をありがとうございました。第 2 号は皆様の声をもとに 3 月までの歩みを刻みました。少人数クラブに思いを寄せ、また ITC-J について考える一助になればと思います。尚、第 2 回カウンスル会合は延期になりましたが、NEWSLETTER No.2 は 4 月 8 日発行予定のものをお届けしました。新型コロナウイルス感染拡大の折、皆様くれぐれも健康に気をつけてお過ごしください。編集者：鶴山紀子(甲南) 木下恵美子(阪神)

ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

カウンスル No.2 第 39 期 第 2 回会合プログラム

日時：2020年4月8日（水）11:00~15:30

場所：神戸ポートピアホテル レインボーの間

開 会	会 長	播磨 由美子	11:00
ITC-J 宣誓		今城 八洲子（神戸）	
挨拶	会 長	播磨 由美子	
ゲスト紹介	会長 / 第二副会長	横田 佳世子	

ビジネス

ビジネス終了

— 昼食 —

午後の部開始 プログラム	12:20
-----------------	-------

インスピレーション 朝田 美恵子（阪神）

何かをうまく語ることは 何かをうまく描くことと同様に
難しくあり面白いものだ。

線の芸術と色の芸術があるように

言葉の芸術だって 其れより劣るものじゃない。

フィンセント・ファン・ゴッホ

プログラムリーダー 深澤 佳世子（神戸）

1部 スピーチコンテスト

2部 マリンバ演奏 マリンバ DUO 山口 公子（No.3 芦屋） & 木村 美泉

役員就任式 インストラリングオフィサー 小田 和子（No.5 豊中）

登録者数報告 コーディネーター 岡田 京子（三田）

タイム報告 大野 三恵子 / 井上 有子（京都）

次回案内 次期第一副会長 南野 利江（御影）

閉 会	会 長	播磨 由美子	15:30
-----	-----	--------	-------

ホストクラブ 宝塚クラブ / 三田クラブ

コーディネーター 岡田 京子（三田）

コ・コーディネーター 山崎 眞知（宝塚）

登録者数

クラブ	阪 神	神 戸	イ-スト神戸	京 都	甲 南	六 甲	宝 塚	御 影	三 田	合 計
会員数	17	8	11	23	14	11	4	10	12	110
登録者数										
ゲスト	講師	一般ゲスト				他カウンスルゲスト				
総合計										